

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		部課コード	200000	04-2992-1151
事業コード	入院事業	担当部課	市民医療センター	
210402			グループ	
開始年度		昭和	51	年度
		終了年度	年度	

事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令	
	分野別計画・指針	所沢市保健医療計画、第二次所沢市市民医療センター改革プラン			所沢市病院事業の設置等に関する条例・所沢市市民医療センター管理規則	
	関連・類似事業	内科外来事業、地域医療体制支援事業				
	総合計画の体系	章	健康・福祉	節	保健・医療	基本方針
事業開始の背景	都市化に伴う救急医療体制の確立と公的医療機関の整備・充実に強く市民から望まれ、昭和51年9月に地域医療及び救急医療の観点から高度な医療体制を備えた病院として開設した。 なお、より高度な診断治療については防衛医科大学校病院、西埼玉中央病院、埼玉医科大学病院等との連携を図る考えのもとに診療科目は、内科・小児科・放射線科の3科とした。					

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	地域の医療機関や行政機関との連携を図り、在宅医療の支援など住民要望に応じた医療機関として入院患者に良質な医療を提供する。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	296,463 人
	原則として、16歳以上の市民を対象にしているが、近隣市町村の方が利用されることもある。			平成 27 年度	297,233 人
事業の具体的な内容及び実施方法					
一般病床49床 市内かかりつけ医や施設からの紹介患者や救急搬送患者等の受入れ 所沢地区第二次救急病院輪番制への参加 担当日:毎週水曜日 より高度な医療を提供している医療機関での入院から在宅医療へ移行する患者の受入れ					

経費	会計種別	企業会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)	
	予算現額			627,727	574,563	552,997
決算(見込み含む)			571,220	504,489		
(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)		( 4.70 人)	( 6.10 人)	( 18.40 人)	( 7.50 人)
正規職員人件費			25.10 人	218,897	21.70 人	187,922
事業費合計			571,220	504,489		
財源内訳	一般財源		97,518	160,484	552,997	
	国・県支出金			378		
	その他( )		473,702	343,627		

「財源内訳」について  
平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	搬送救急収容人数	消防隊による搬送で入院した患者	人	123	96	100	100
		入院患者実人数	(入院者 + 退院者) / 2	人	555	533	530	530
病床利用率		年延入院患者数 / 年延病床数 × 100	%	52	51	50	50	

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	救急受入率	搬送救急収容人数 / 入院患者実人数 × 100	%	目標値	35	35	20
					実績	22	18	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	63	51	どちらかをチェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	人工呼吸器の新機種導入、エアマットの更新などを実施し、入院環境の整備に努め、入院患者の症状に対応した診療を行った。	救急搬送によらず、重症化する前に外来受診したことが理由と考えられる。

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	方向後の	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	在宅医療の後方支援としての機能を果たせるよう、職員の知識及び技術の向上を図っていく。
			次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	地域連携室を中心に他の医療機関等の連携強化により、入院患者の増加に努めるとともに、入院患者の日常生活動作維持のため、理学療法士を採用して入院中のリハビリテーションを強化していくことから予算措置について拡大が必要である。
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性		
	診療報酬上の算定項目において、退院支援加算1を算定できる医療機関として届出を行い、患者が安心・安全な在宅療養に移行できるよう、支援を行っている。また看護師による退院後の家庭訪問を実施し、患者・家族に療養上必要な助言・指導を行っている。			入院患者の日常生活動作維持のため、理学療法士を採用して入院中のリハビリテーションを強化していく予定である。		
評価日	平成28年8月4日	評価者職氏名	市民医療センター事務部総務担当参事 小峯英夫			

環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	医療行為による感染性廃棄物の排出	規制を受ける環境法令等	有
					緊急事態	有